

# 華屋寄席

2022年

5月9日(月)

「ほとぼしる浪曲師」

玉川奈々福

(曲師 沢村美舟)

「鼓童」

小島千絵子  
宮崎正美

「チンドン芸能社」

永田美香  
(特別出演)

ゲストハウス華屋

佐渡市小木町845(元ごんざや)

開場14:30 開演15:00

2,800円

(自由席・予約不要)

「アコーディオン漫謡」

遠峰あこ

(特別出演)

人気浪曲師  
佐渡でうなる!

5/10  
(火)

翌日は!

相川「ホテル吾妻」ランチ寄席

5,000円 (食事込・食事開始 11:30)

要予約 0259-74-0001 相川大浦48-1



〈主催・問合せ〉佐渡が姉妹 sadogashimai@gmail.com



# 華屋寄席

浪曲とは、語り手と三味線弾きとの二人で物語を描く芸能。もともと「浪花節」と呼ばれ明治時代初期に成立した。義理と人情、男気、忠義、霊験、恋…人間のさまざまな感情を歌いあげる。

浪曲師・玉川奈々福を鼓童の小島千絵子がお招きし「浪曲・浪花節」という芸能の面白さを佐渡の皆様にご紹介します。

明治時代、一世を風靡した浪曲師たちはきつと、この佐渡のこの広間で、浪花節を唸ったに違いない!

ほとばしる浪花節  
浪曲師・玉川奈々福  
佐渡でうなる、佐渡がうなる!

よっ、待ってましたっ!



## 玉川奈々福 (たまがわ・ななふく)

神奈川県横浜市出身。1995年7月、二代目玉川福太郎に曲師(浪曲三味線)として入門。師の勧めにより2001年より浪曲師としても活動。2006年12月、芸名を美穂子から奈々福に改め名披露目。さまざまな浪曲イベントをプロデュースする他、自作の新作浪曲や、長編浪曲も手掛け、他ジャンルの芸能・音楽との交流も多岐にわたって行う。平成30年度文化庁文化交流使として、イタリア、スロベニア、オーストリア、ハンガリー、ポーランド、キルギス、ウズベキスタンの七か国で公演を行った。第11回伊丹十三賞受賞。



## 沢村美舟 (さわむら・みふね)

千葉県佐倉市出身。義太夫から三味線に興味を持ち、偶然入った木馬亭にて師の音締の虜となり、通ううち浪花節のおもしろさに魅せられる。2015年5月に日本浪曲協会主催の三味線教室に通い、翌月沢村豊子に入門。浪曲師を腹で支え、描きたい世界とともに描ける、活かす曲師になるべく奮闘努力中。



撮影：宮川舞子

## 小島千絵子 (こじま・ちえこ)

1981年「鼓童」創設メンバーで、太鼓中心の舞台の中で独自の舞踊の世界を切り拓いている。2006年「アマテラス」で初代アメノウズメを演じ、鮮烈な印象を残した。自身の代表演目「花八丈」を題材に各地でワークショップを展開、女性ならではのしなやかな太鼓表現をテーマに力を注ぐ。2019年「鼓童 千の舞」を開催、一期一会の舞台をDVDに残し発売した。



撮影：岡本隆史

## 宮崎正美 (みやざき・まさみ)

2001年より鼓童メンバー。佐渡太鼓体験交流館(たたこう館)で、主にワークショップ講師として活動する中、健康増進・介護予防プログラム「エクサドン」や、組織の活性化・チームビルディングにつながる「企業研修」などに取り組んでいる。公演活動にとどまらない様々な活動を通して、太鼓の力を社会に活かす取り組みの中心人物として大きな期待が寄せられている。

5月9日(月)華屋寄席会場

ゲストハウス**華屋** 佐渡市小木町845

5月10日(火)ランチ寄席会場

ホテル**吾妻** 佐渡市相川大浦548-1  
0259-74-0001

## 佐渡が姉妹

小島千絵子と娘、夏子の姉妹!?ユニット。  
本公演の企画・主催。  
コンサート・イベント・ワークショップ主催ほか、  
佐渡羽茂「ゆきあひspace千」  
栃木「おわっさま」CT」2つのスタジオを運営。

Email:sadogashimai@gmail.com  
Website:https://lit.link/sadogashimai



Website